

教員名	清水 さゆり	所属学科	経営学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>企業の国際化や国際経営を中心に、企業の戦略や組織、マーケティングなどの事業活動とその実態について学んでいきます。日系企業だけでなく、欧米系企業や新興国企業、そして、大企業だけでなく、中堅・中小企業を対象としてみています。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>まず、企業の実態を見る目を養うため、理解するために必要な理論や概念を書籍や論文などの文献を通じて学びます。文献を各自読み込むことを前提条件とし、担当者が指定された箇所をまとめてきた上で、ゼミ内で自由闊達に話し合う（ディスカッション）ことを通じて、自身の意見を論理的に説明したり、多様な意見や見解を聞きながら自身の考えを展開していく機会とします。その際に必要な方法論（研究の方法）についても学びます。</p> <p>書籍等の二次資料だけでは得難い生の情報に触れること、あるいは直近の企業活動を知ること重要であるため、企業訪問、工場見学を行います。また、実務家等による講演を取り入れることで、文献で得た知識と現実の企業活動等との適合性（関係）について確認します。</p> <p>以上の方法で知識や知見を得ると同時に、チームを編成し、チーム毎にテーマを設定して研究を進めます。その成果発表の場は、2年次、3年次における他大学との合同ゼミとなります。国際経営や経営学を学ぶ他大学の学生と研究を発表し合い、さまざまな見解を知ると同時に、他大学学生との人的な交流を図ります。</p> <p>夏休みには、（主に）3年生を対象に2カ国を訪問するアジア研修旅行（フィールドワーク）を実施し、企業の国際化、国際経営の現場を確認する機会をもちます。ここでは、日系企業だけでなく、現地企業を訪問したり、現地学生との交流によって多様性や文化の差異も実感します。</p> <p>4年次は、2年半のゼミ（研究）活動の集大成として、各自テーマを設定して卒業論文を作成します。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>ディスカッション、企業訪問等のゼミ活動を通じて、社会人としての常識を身につけると同時に、獲得した知識を使える「知恵」にかえていきたいと考えています。「主体性と協調性をもって行動し、自ら考えることをクセとすること」が目標です。卒業生の進路は多様です。製造業や非製造業の民間企業、各金融機関、公務員、自衛隊（幹部候補生）、大学院進学など。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>江夏健一等編著（2018）『理論とケースで学ぶ国際ビジネス 第4版』同文館 沼上幹（2008）『わかりやすいマーケティング戦略』有斐閣アルマ 高根正昭（1979）『創造の方法学』講談社現代新書 など</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>学問を追究すると同時に、人間として成長して欲しいと思っています。そのため、各種イベントにも積極的に取り組んでくれるゼミ生と一緒にゼミをつくっていききたいと思っています。</p>			